

Handsome



Handsome CONTENTS ————— June 2013 No.296

TOPICS 次年度39期理事・監事・県出向役員候補決定

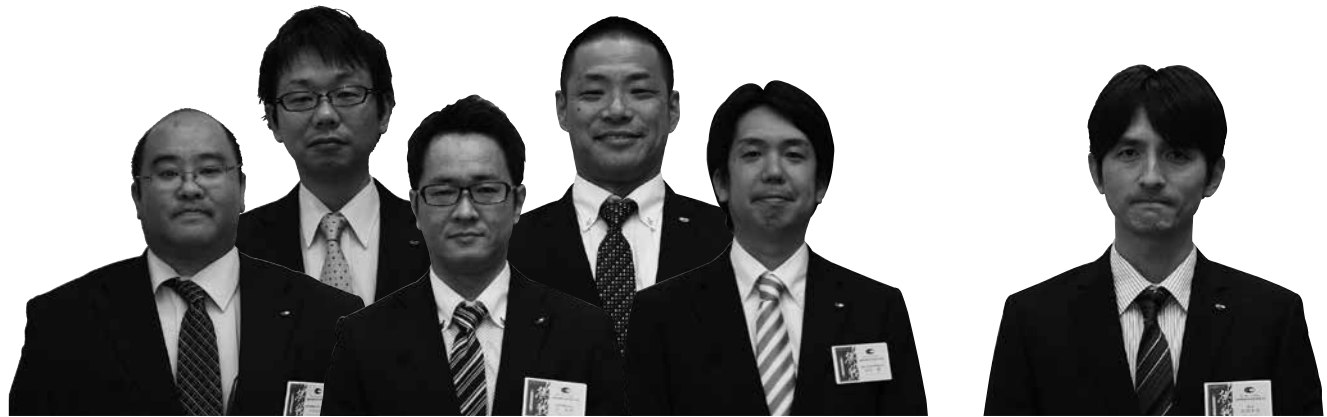
《特集》5月セミナーオープン例会・臨時総会開催／平成24年度OB交流会 ストライク!!ボウリング大会／救命講習で目から鱗!

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津 慎二 ◆編集責任者／担当 副会長 牧田 継夫 ◆制作・編集 第38期メディアコミュニケーション委員会／委員長 長谷川 貴久

次年度39期理事・監事・県出向役員候補決定!!

【理事】

【副会長兼任】



千石 正信 会員

辻 拓哉 会員

本田 繁 会員

松田 幸紀 会員

生田 育永 会員

秋里 武信 会員

【会計担当理事】

【監事】



西村 義史 会員

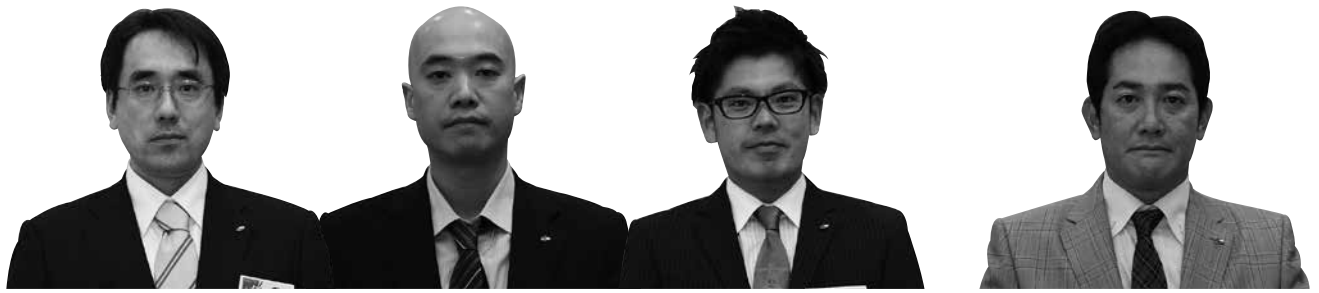
森脇 哲雄 会員

後藤 公平 会員

後藤 太良 会員

【県出向理事候補】

【県出向監事候補】



荒川 秀光 会員

廣谷 栄一 会員

上田 康文 会員

竹ノ内 賢一郎 会員

5月セミオープン例会・臨時総会開催

日時：平成25年5月16日(木) 場所：米子コンベンションセンター 小ホール 担当：道州制問題検討委員会

今月は初めに臨時総会が開かれ、牧田副会長の議事進行により、満場の拍手のもと第39期理事・監事・県出向役員が承認された。また平成25年度特別会費徴収の件も同じく承認された。その後、例会視察の為に越前になられた東部・中部のお客様にご入場頂き、5月例会が開催された。



河津会長より「東部・中部の皆様は西部の例会を見てもらう為、あえてセミオープン形式にしました。」と説明がなされた。また部下や子供を褒めることの効用や、年下の意見を素直に受け入れることの重要性を語られた。

続いて新入会員のバッジ授与が行われ、石田倫章新入会員から「先輩会員の皆様には、たくさんのご指導をお願いしたい。」との挨拶があった。

委員長タイムでは総務・40周年事業準備委員会の盛政委員長より、ご自身の仕事の経験から得た、怪我の応急手当や止血方法について説明され、最後に「最も重要なのは『怪めないこと』です。」と締めくくられた。



続いて「道州制と道州制施行後の我々の生活について考える」をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われた。

開演の前に濱田委員長より、道州制導入問題の現在の進捗状況、実際に施行された場合の考えられるメリット・デメリット等について説明された。

第一部では『私たちの暮らしとヒューマンライツ』と題し、講師に有限会社じんぶんネット 代表 松本城洲夫氏にご講演頂いた。



まず『ヒューマンライツ』に触れられ、「スタートは自由と自立。他人の自由を害しない事であり、自分の行動は自分で決める」といった主体性を持って生きていくことが大事である。」と語られた。また『人間の生活として最低限のラインを保障する』行政の責任についてもお話頂いた。

第二部は『身近な自治についてのパネルディスカッション』と題し、パネリストに《淀江さんご節保存会》奥田晃巳氏、《米子ケヤキ通り振興会》福庭会員、《日吉津小学校芝生化推進隊》三鴨会員、以上の3名を



お招きした。松本講師にアドバイザーとして再度のご登壇をいただき、後藤公平会員のコーディネートの下に進行された。

三鴨会員より、最初は5人の有志で始めた運動がやがて村中を巻き込み、200人以上も参加された

現在の芝生推進隊の活動の様子をご紹介頂いた。

福庭会員より、ケヤキの落葉清掃から始まって徐々に活動が活発になり、2010年には県西部初となるスーパーボランティア団体に認定されたケヤキ通り振興会の様々な活動をご紹介頂いた。



奥田氏より、『おもてなしの芸能』である淀江さんご節の指導を通じて、伝統のある民族芸能を引き継ぎ、子供達に地域とのつながりの重要性を教えていきたい、という保存会の活動趣旨をご説明頂いた。

松本氏より「今後も地域と様々な形で関わり、自発的な活動をどんどん継続して欲しい」と各団体の活動が賞された。

最後に須山副会長より、「道州制の有無に関わらず、自発的な取り組みが今後は大事であること。また人と人の絆の重要性を再認識しました。」との謝辞が送られ、5月例会は閉会した。

(記事：宮田)

例会を終えて… 道州制問題検討委員会 委員長 濱田 修



前回の担当例会である11月例会終了後、今後の委員会活動の方向性と5月の例会はどういう例会にするのかということに非常に悩みましたが、委員会メンバーのフォロー、松本先生、淀江さんご節保存会様のおかげで良い内容の例会ができたと思っています。また、企画を詰めていくなかで、福庭会員、三鴨会員に第二部のパネルディスカッションでパネリストをしてもらうことを決めたわけですが、これだけ例会の企画内容に合った活動に携わる会員が同じ委員会に複数もいることに驚きを感じましたし、なかでも三鴨会員の芝生の事例は自身が率先して行っていることもあり、素直に素晴らしいことだと思いました。

第一部の松本先生の講演では、普段分かっているようで実は掘り下げて考えていない我々の人としての権利についてお話を頂いたわけですが、道州制になれば小さな政府になるというところから制度の内容以前の根本的な部分として、全て行政に頼り切り、行政のせいにするのではなく、自分たちの暮らしの為に自分たちでできることをまずは考えてみるこの意識付けということで例会の企画をさせて頂きました。会員の皆様の今後の参考になれば幸いです。

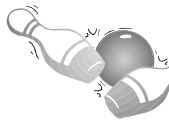
● はじめての例会 ●

メディアコミュニケーション委員会
石田倫章



5月例会にて河津会長よりバッジをいただきました。あのような場で壇上に上るなどということは、小学校の卒業式以来で大変緊張しましたが、同時に中央会の一員に加えていただいたという事を改めて実感いたしました。

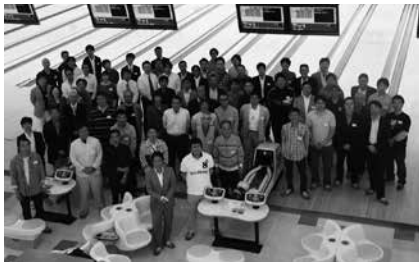
例会中は、委員会業務として一部記録写真の撮影もさせて頂きました。同じく緊張しましたが、例会を広く見ることができ、初回ながら良い経験をさせて頂き、充実した例会であったと感じております。



平成24年度OB交流会

ストライク!! ボウリング大会

平成25年5月11日(土)
クイーンボウル



開催されました。

開会式の冒頭、河津会長が「38期も11ヶ月目をむかえ、残り1ヶ月となりました。これも、OB会員の皆様のご支援のおかげです。」と感謝を述べられ、福田一哉OB会副会長より「久々に現役会員に会えるのを楽しみにして参りました。」とご挨拶をいただきました。続いて、河津会長・福田OB会副会長による始球式が行われた後、2ゲームマッチの熾烈な戦いの火蓋が切られました。



OB・加藤典史OB・中本高夫OBのスコア表でした。ずらりと並ぶストライクやスペアのマークに、周りほどよめきたって

平成25年5月11日(土)『クイーンボウル』において、平成24年度鳥取県西部中小企業青年中央会OB交流会《ボウリング大会》、並びに『海王』にて懇親会が

競技中はストライクやスペアが出るたび、ハイタッチや拍手に湧き、ガーターが出るたび、笑いも起こるなど、始終和やかな戦いが繰り広げられました。

その中でも一際目を引いたのは、河津憲廣OB・浅中雅彦

ました。

競技終了後、会場を海王にかえ、懇親会に移りました。

河津会長の挨拶に続き、宇佐美OB会長の乾杯のご発声で開宴となり、現役会員とOBが酒を酌み交わし、語らい、各所で笑い声の響く賑やかな宴となりました。宴の最中にボウリング大会の表彰式が行われ、個人戦では前評通りの強さを発揮された河津憲廣OBが優勝されました。河津OBからは、周りでストライクを連発する現役会員の姿におおられ、「現役には負けまい!」という一心で投げ続けたとの優勝の弁を頂きました。尚、成績では、優勝・準優勝・第三位に加え、団体戦もOBの皆様が受賞され、OB会員のパワーを印象づける結果となりました。



その後参加した新入会員の自己紹介が始まり行われ、続いて第39期役員が紹介されました。その中で渡辺次年度会長は、「来年7月の創立40周年に向けて全力を上げて取り組みたい」と意気込みを語られました。

そして最後に北口県会長より、参加いただいた皆様への感謝と、来るべき40周年に向け、物心両面での一層のご支援をお願いされ、中締めとなりました。

現役会員とOB会員との親睦を深める有意義な1日となりました。

ご参加いただきましたOB会員の皆様ありがとうございます。(記事:吉田・徳尾)

県出向レポート

「今年一年を振り返る」

会員の皆さん、県の役員の皆様一年間県の活動にご協力いただきありがとうございます。

今年度は北口県会長のもと、「同志一丸」をテーマに、三大イベントを柱として活動致しました。委員長交流会・互いのオープン例会視察・ビジネス交流の3つです。いずれも東中西が一体となり、会員

が会員に向けた企業PR・企業展示や、各地区のOB会員による講演など、盛りだくさんの内容で、めまぐるしい一日でしたが、楽しかったです。

一年間県監事を務めさせてもらったので、県の役員会では毎回監事講評をさせてもらいました。東部・中部の役員の方々の前で、どんな言葉で西部をアピールし

ようかと毎回ハラハラ緊張していましたが、回を追うごとにだんだん緊張感が心地よくなっていきました。これから皆さんも県の役員をされる機会があると思いますが、是非引き受け、体験して下さい。東部・中部の会員の方々とも仲良くなれますし、新しい絆が出来ていいですよ。

(記事:竹中和孝 県出向監事)

「救急救命講習で目から鱗!」

平成25年5月20日(月) 県立武道館



教わった。正しい知識を学ぶことで、有事の際に迷わず手当が行え、生存の可能性を高めることができるということだ。

次の心肺蘇生法は誰でも知っているが、深さ(5cm以上)・リズム(100回/分以上)・回数(30回で人工呼吸2回)は案外知られて

いない。命に直結するので是非覚えておくべき。

最後にAEDの使用方法を学んだ。例会より実践的で、AEDは救急車への電話と並行して最優先で行うこと、時間がたつと使えない可能性が高まること、除細動(電気ショック)中以外は継続して心臓マッサージを続ける事など、思い込みを正されるいい講習だった。担当委員会以外の参加者は少なく残念であり、リーダーは特に知っておくべき知識だと思ふ。詳しくは日本救急医学会HPなどを参照願いたい。

(記事:桑本)

いない。命に直結するので是非覚えておくべき。

最後にAEDの使用方法を学んだ。例会より実践的で、AEDは救急車への電話と並行して最優先で行うこと、時間がたつと使えない可能性が高まること、除細動(電気ショック)中以外は継続して心臓マッサージを続ける事など、思い込みを正されるいい講習だった。担当委員会以外の参加者は少なく残念であり、リーダーは特に知っておくべき知識だと思ふ。詳しくは日本救急医学会HPなどを参照願いたい。



会長ぼろ！



この投稿を掲載したハンサムが発行される頃は、委員会活動報告・次年度方針発表がある第38期西部青年中央会最後の例会目前です。1年前に私がこの例会で方針説明したことを、昨日のこのようにはっきり覚えています。

この1年間、ひとつひとつの事業を追いかけ続けて、あっという間に最終例会がやってきた感じがします。しかし今期まだもう少しありますので、最後の事業仕上げまでしっかり活動して頂きたいと思います。引き続きよろしくお祈りします。

さて会員の皆様は、今期のテーマでもある『挑戦』をして、自分自身の中の壁を越えることがひとつでも出来て、キャパシティが広がり成長することが出来ましたでしょうか？出来た方も出来なかった方もおられると思いますが、これは今期の事だけではなく、成長するためには常に追い続けなければならないものだと思います。しかもそれに必ず意識して取り組まないと、その先の進化はないと言ってよいでしょう。現状に満足せず、常に挑戦者であってほしいと願います。

5月度委員会報告

メディアコミュニケーション委員会

平成25年5月7日(火) 19:00～ 場所:味わいジャパン
議題 / ・役員会報告・ハンサム、中央会TVについて
・6月例会について ・その他

政治行政委員会

平成25年5月8日(水) 19:00～ 場所:ホテル アクシス
議題 / ・役員会報告 ・提言について ・救命講習について
・その他

チャレンジ委員会

平成25年5月8日(水) 19:00～ 場所:レストランぶどうの木
議題 / ・役員会報告 ・4月担当例会打ち合わせ ・会員拡大
・その他

教育対策検討委員会

平成25年5月10日(金) 19:00～ 場所:米子ニューアーバンホテル
議題 / ・5月役員会報告 ・提言に向けて ・会員拡大
・その他

道州制問題検討委員会

平成25年5月10日(金) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター
議題 / ・役員会報告 ・道州制および5月例会について
・その他

総務・40周年事業準備委員会

平成25年5月8日(水) 19:00～ 場所:米子ニューアーバンホテル
議題 / ・役員会報告 ・OB交流会について ・会員拡大
・その他

〈新入会員〉



石田 倫 章 A型

働エコプレzens
LED照明器具・消臭・除菌水の販売
〒683-0853 米子市両三柳2070
TEL 30-2777 FAX 30-6642
(KT) 080-1638-6642
(EM) simanenomigi@gmail.com

S 59.09生

〈コメント〉

中央会を通じて社会貢献と、自らの勉強に励みたいと思っております。会期も終わりに差しかかる多忙な時期の入会ということで、諸先輩方にご迷惑をお掛けすることになるかと思いますが、何卒よろしくお祈り致します。

中央会徒然 竹ノ内賢一郎 専務理事

先日、ふっと考えることがあり、先代社長のお墓参りに行ってきました。その道中で中央会に入会してからのことを思い返していました。

当時、松岡社長の誘いを2年近く断り続け、半ば無理やり入会申込書を書かされ、どうなることかと思っていました。最後の説得のお言葉は「必ずお前のためになるけん！」でした。そして、その2年後に松岡社長は他界。入会していなければ恐らく今の自分はいないし、あのタイミングでなければ壁を乗り越えることはできなかったらうなと思いました。

人間一人の力は知っていますが、出会う人や出会う人とのタイミングによって大きく左右されるのではないのでしょうか。他力で支えられている事を忘れずに！これだけは忘れずに精進して参ります。

今月のNice Shot!



日時と場所: 5月11日(土)平成24年度OB交流会懇親会にて
タイトル: 『W河津』

コメント: 80年代末の人気女優「浅野温子」「浅野ゆう子」の二人を、『W浅野』と称し親しんだ。写真は大会で個人優勝を成された河津憲廣OBと河津慎二会長の2ショット。OB会員と現役会員とが、いつまでも親しく寄り添っていく事を願い選んだ1枚である。

6月役員会報告

6月役員会が平成25年6月3日(月)米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・5月例会報告の件
- ・6月例会開催の件
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

6月例会のご案内

と き: 平成25年6月17日(月) 19:00～21:30

と ころ: 米子コンベンションセンター “BIG SHIP” 小ホール

内 容: 38期委員会報告、39期年度方針発表、39期理事抱負

担 当: 第38期 メディアコミュニケーション委員会

編集後記

38期も残りわずかとなりました。今期のテーマは「挑戦」。会員の皆様はこれまでを振り返ってみて、何かは挑戦し、自分自身の中の壁を越えることが出来ましたでしょうか。あと少しです。河津丸を無事帰港させましょう！ (松本基成)